

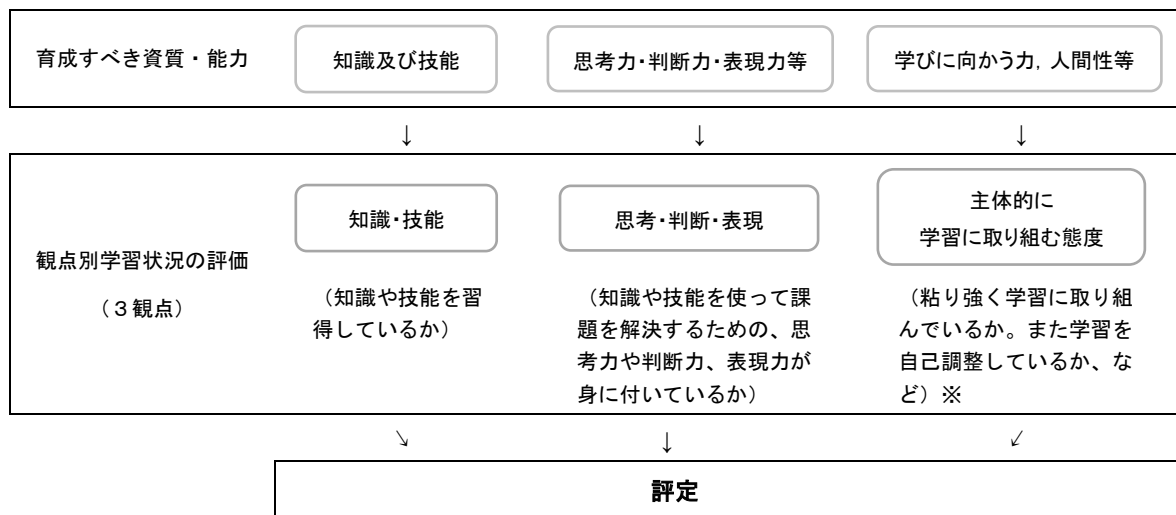
本資料は、令和6年度版 Here We Go! 5・6 を使用するにあたって、年間指導計画を作成する際の参考資料として用意したものです。地域、学校、児童の実態に応じて、適宜修正を加えてご利用ください。

教科書と評価

1. 学習指導要領と観点別評価

学習指導要領では、育成すべき資質・能力として、「知識及び技能」（何を理解しているか、何ができるか）、「思考力・判断力・表現力等」（理解していること、できることをどう使うか）、「学びに向かう力、人間性等」（どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか）を挙げています。

この3つの資質・能力を、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から評価します。



※「感性や思いやりなど」は評価の対象外であり、児童一人一人のよい点や可能性、進捗の状況を個人内評価として見取り、日々の教育や活動の中で児童に伝えることが大切です。

2. Here We Go!で設定している重点化領域について

各単元について、5領域のうち重点的に扱う領域を設定し、教科書の目次ページにアイコンで示しています。これによって、指導と評価の計画を立てる際の目安にしてもらうことを目的としています。重点化領域は、テーマごとに各領域について最低1回以上は評価の場面を設定しており、5つの領域のバランスのとれた指導と評価ができるように設計されています（5年テーマ1を除く）。

また、テーマの最後にある「まとめ」では、「聞くこと」「読むこと」「話すこと やり取り」「話すこと 発表」の活動を行い、各領域の到達度を確認することができます。

「まとめ」は以下の教材で構成されています。

- 世界の友達 主に「聞くこと」を扱い、6年最後では「読むこと」を扱う。
- You can do it! 主に「話すこと やり取り」「話すこと 発表」を扱う。

評価の3観点と主な評価の場面

下記は、Here We Go! 5・6の教科書の主な該当箇所、評価の流れ、およびそれに対応する評価の3観点を示しています。3観点のうち、特に集中して見取る観点到○をつけています。

・ 配当時間7時間の単元

時間	1	2	3	4	5	6	7	
	導入	展開					ゴール活動	
	Hop!	Step 1			Step 2		Jump!	
主な該当箇所	Story ^{※1}	Let's listen.	Let's try.	Let's read. ^{※2} Let's write and read.	Let's listen.	Let's try.	Let's read. ^{※2} Let's write and read.	Let's listen. Let's read. Let's speak. Let's write and speak. Let's write.
評価の流れ	行動観察・ふりかえりシートの点検							⇒ 観察評価、 発表・成果物 ^{※3} 評価
知識・技能		○	○	○	○	○	○	○
思考・判断・表現	(○)						○	○
主体的に学習に取り組む態度	(○)						○	○

※1 Storyは、「聞くこと」の形成的評価の場面とし、指導者は児童の聞き取る姿を確認します。

※2 Let's read.は、5年生のUnit 3までとなり、Unit 4以降はLet's write and read.となります。

※3 成果物は、児童が作成するもの（例：ポスターやパンフレットなど）を指します。これらを作成しない単元もあります。

3. 単元の評価規準について

各単元で、重点化領域別の具体的な評価規準（例）を評価の3観点とともに示しています。

また、毎時の「主な活動内容」の横に「評価」欄を設けて、教科書の主な該当箇所と評価の観点を示しています。これは、日々の授業の中で児童の学習状況を把握し、指導の改善や、児童が自身の学習状況を把握するために、役立てることを目的としています。（ただし、評価については毎回厳密である必要はなく、単元やより大きなまとまりで、総合的に判断します。）

4. 学年を通じて見取る教材について

Alphabet Timeでは、1年間ないし2年間をかけて、アルファベットや単語（語句）の音と文字について学習します。聞いたり言ったりして文字に慣れ親しみながら、読んだり書いたりする力を育成することを目指しています。各単元では、これらの教材の評価規準（例）を示してありますが、単元にとらわれずに継続的に見取っていくために参照してもらうことを意図しています。